

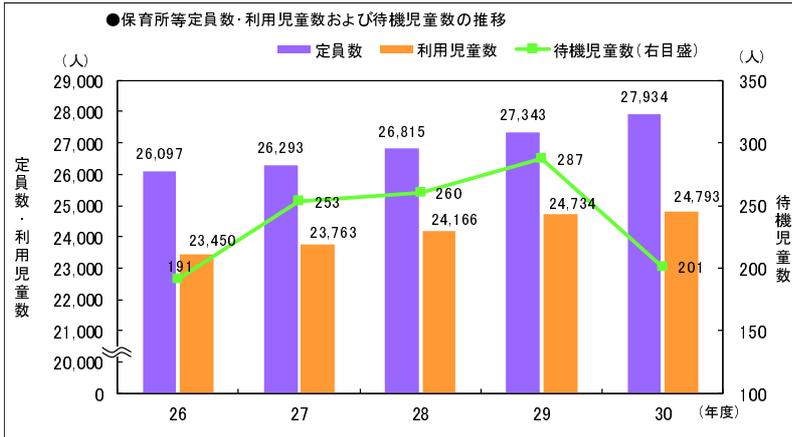
保育士等の人材確保対策の強化について

【担当省庁】内閣府、厚生労働省

奈良県における取組

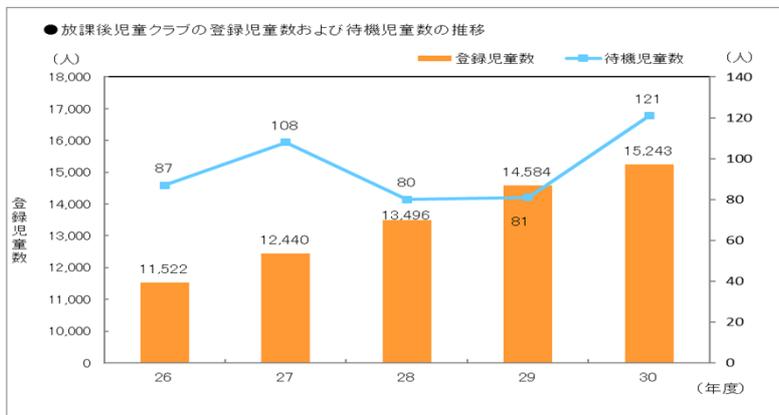
1 本県の現状

① 保育所等の状況



- ・施設整備等により定員数が増え利用児童数も増加
- ・利用児童数が定員数に達していないにもかかわらず、待機児童が発生
- ・**保育士等不足のため受け入れができないことが要因と考えられる**

② 放課後児童クラブの状況



施設整備等により受け皿が拡大し、登録児童数も4年前の約1.3倍に増加しているが、待機児童数も増加傾向が続いている。

2 人材確保における現状と課題

(1) 保育士の状況

① 有効求人倍率

年	4月	10月	全産業 (10月)
H29	1.41	1.54	1.38
H30	2.40	2.71	1.50

- ・保育士の有効求人倍率は全産業と比較すると高い
- ・H30年はH29年に比べ高くなっており、**確保が一層厳しくなっている**



保育士養成施設卒業者等の県内施設への就職促進のため、平成31年度より保育士修学資金等貸付事業を実施

②勤続年数及び賃金

		勤続年数	きまって支給する現金給与額
保育士	奈良県	5.4年	225.1千円
	全国	7.7年	229.9千円
全産業	奈良県	11.1年	326.2千円

平成29年賃金構造基本統計調査

- ・奈良県の保育士は 全国に比べ勤続年数が2.3年も短く、賃金も低い。
- ・他産業に比べると、勤続年数は5.7年短く、賃金は10万円程度低い。

保育士の定着促進に向けた取組が必要

○平成29年度処遇改善加算Ⅱ実施状況

対象施設 94ヶ所中84ヶ所で実施(実施率89.4%)

○平成31年度は新たに

- ・保育士等支援アドバイザー巡回指導支援事業により、若手保育士の離職防止を図る
- ・働きやすい職場づくりに向け、園長等を対象に、働き方改革をテーマとした研修会を実施
- ・経験年数や職務・職責に応じた研修の充実により、キャリアアップの仕組みの構築を支援

(2)放課後児童支援員等の状況

○平成29年度キャリアアップ処遇改善加算(H29国2次補正で新設)実施状況

対象市町村数 33ヶ所中1ヶ所で実施(実施率3.0%)

○平成30年5月 奈良県実施のアンケート調査において

県内の64%の放課後児童クラブが、「十分な職員が確保できていない」と回答

本年10月からの幼児教育無償化により、保育や放課後児童クラブの利用ニーズが一層高まることが想定されるため、保育、放課後児童クラブの人材の確保に向けてさらに強力的に取り組む必要がある

国にお願いすること

- 1 保育士修学資金貸付等事業について、継続的に事業が実施できるよう、貸付原資の積み増し等に必要な財政措置をお願いしたい。
- 2 保育士や放課後児童支援員の給与については、一定の処遇改善が図られているが、依然として他産業との賃金格差が大きいいため、さらなる処遇改善をお願いしたい。
また、人件費も積算の要素に含まれている公定価格の算定における地域区分の設定について、近隣府県と格差が生じないように見直しをお願いしたい。また、県内の市町村間における均衡が図られるよう配慮されたい。